

きぼう

明石市立大久保北中学校 第2学年
学年通信 第28号(128)
令和元年6月21日(金)

勤労は今でも成功への道であって、これ以外に道はない。

学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

「トライやる・ウィーク」を終えて④

◆4組

トライやる・ウィークを終えて僕はいろいろなことを学んだり、感じたりすることができました。僕はこの5日接客の難しさを感じました。お客様にしっかり伝わるように大きな声でハッキリ話さないといけない。そんなこと簡単だなと思っていたけれど、やってみると難しかったです。そこで接客の難しさを学んだ。この5日間で自分から進んで行動することができました。1日目はやっている人のことを見ていろいろ学んで2日目からは自分で積極的に動けたから、そこは普段の生活でもいかしていけたらいいなと思いました。活動中にコップを落としてしまって気が抜けていたと分かって、次の日からコップや食器を運ぶ時に1回、1回集中できるようになったので失敗をして終わるのではなく、失敗を次に生かしていられたので良かったところだと感じました。このトライやる・ウィークでいろいろな経験ができたし、いろいろ学びに感じる事ができたからそれを今からの生活にいかしていけたらいいなと思いました。



◆1組

トライやる・ウィークを通して、大切なことを学びました。1つ目は働くことの大変さです。お客さまが絶え間なくやってくるお店は仕事がたくさんあり、手を休めることなく働いていました。数時間活動しただけでも疲れたので、何時間も働き続けるのは大変だと思いました。それと、同時に親への感謝の気持ちでいっぱいになりました。いつも家族のために長い時間がばって働いてくれている親に本当に感謝したいです。これからは自分ができる家の仕事を進んでやっていこうと思います。



もう1つは見えない所での頑張りです。今回、お世話になったダンマルシェはお客さまから見えない所での仕事も手を抜くことなく作業をしていました。その姿を見て、お客さまたちが楽しんで買い物をしたり、ゆっくりと食事ができるのは店員さんの見えない所での頑張りがあるのだからと感じました。今までの自分の生活を振り返ると見えない所での頑張りがあるのだからと感じました。

今までの自分の生活を振り返ると、たくさんの方々に支えてもらっているのだと改めて思います。私たちの生活を支えてくださっている全ての方々に感謝の気持ちを持って生活をして、見えない所での頑張りを大切にしたいと思います。本当に大切な事を学ぶことができたトライやる・ウィークダンマルシェで活動することができて良かったです。

◆5組

私はトライやる・ウィークを通していろいろな事を学ぶことができ、すごく良い1週間となりました。例えば、「目線を合わせて話す」ということです。私は保育所に行きましたが小さい子どもと目線を合わせて話すことで相手は安心するというアドバイスを先生からもらい意識してみることにしました。そうすることで、いつも以上にたくさん話をしてくれてとても嬉しかったです。

そして嬉しかったことがもう一つあります。それは4歳児の担当だったのですが、人見知りの子が5人くらいいて、その子と話すためにどうしたらいいかとすごく苦戦しました。トライやる2日目くらいの時に少し近くに寄ってみることにしました。すると少し恥ずかしそうにしていました。やっぱり恥ずかしがって話そうとしてくれなかったの、まずは名前を覚えて呼ぶことにしました。「〇〇ちゃん」と呼ぶと笑顔でこっちを見てくれて、少しでも近づけたかなと「ホッ」としました。そしてトライやる4日目、その子が自ら私の所に来てくれて一緒に遊ぶことができました。このように相手のことを考えることで、たくさんの人と繋がることができるんだ、ということ私は学ぶことができました。



◆6組

私は仕事は楽しいものだと思っていました。トライやる。ウィークが楽しくなかったわけではありませんが、しんどさもありました。何よりも大変だったのは仕事を見つけることです。頼まれた仕事を終わると、できる仕事がなくなってしまい、事業所の方に何でも聞きに行ってしまうと何の勉強にも勉強にならないので自分から動きを考えることが難しく感じました。事業所の方から仕事をするときに、とても大切なことは人のことを思い行動することだと教えていただきました。トライやる・ウィークでは4日間で他の人より1日少ないですが、その中でも学ぶことがたくさんありました。ですから、4日間で学んだことを必要な時だけでなく、常に意識をして学んだ必要なが自分の「ふつう」にできるように日々の生活を見直していきたいと思いました。



◆6組

僕がこの5日間のトライやる・ウィークを終えてあらためて振り返って感じたことは2つあります。1つ目は「仕事の大変さ」です。事業所の方は毎日自分が体験した以上の仕事をやって、夜遅くまで作業をしていると分かったからです。僕はこのトライやるで自分が体験した仕事は普段事業所の方がしている仕事のほんの一部なのに疲れていたの、大人になって多分この仕事をするわけではないと思うけど、この仕事の大変さが分かったの大人になったときのために今から頑張れることは頑張っていきたいです。そして2つ目は「事業所の方、地域の方々の優しさ」です。事業所の方は、とても忙しいはずなのに僕が質問をすると優しく答えてくれました。地域の方々には本の配達に行ったり、駅の近くでミニカレンダーを配ったときにとても優しく受け入れてくれました。なので、僕は事業所の方、地域の方々の優しさを感じました。トライやる・ウィークは大変だったけれど、楽しかったのでもた機会があればやりたいと思いました。

